

令和元年度 特別支援学級作品展 実績報告

特別支援学級作品展は、今年度も郡市文化展と同時期に同じ場所で開催しました。そのおかげで、文化展を見に来られた多くの方が足を止めて作品を見てくださいました。展示場所も入り口からすぐの所で目に留まりやすく、各部門のご理解に感謝しているところです。

ここ数年は個人作品が多く、特に描画が増えています。これは、通常学級の児童生徒との交流学習を通して完成した作品ではないかと考えています。お互いに刺激し合いながら、良い作品を作り上げていることは喜ばしいことです。また、特別支援学級ならではのアイデア豊富な作品は、見る人を引きつけ、特別支援学級や特別支援教育に対する良い理解啓発の場になっています。

展示や撤去、作品の返却に関しては、担任の先生方、ブロック代表の先生方、各地区担当の先生方に大変お世話になりました。ありがとうございました。

以下は、今年度の反省です。次年度の作品作りの参考にしてください。

- 担任の先生方の丁寧な指導と児童生徒の個性が発揮された作品が多く見られた。
- 展示の機会があるので、目標にして表現活動に取り組ませることができた。
- 賞状をいただけるので、児童生徒の励みになる。
- 作品数は多いが、すべての作品を工夫して展示することができた。
- 展示の都合上、サイズを決めて作品票を事前に準備し、各学校に活用してもらった。
- ▲作品の中にベンチがあり、座っている人がいたが、良かったのか。
- ▲展示の都合上、作品の大きさを決めていたが、それを超える大きさの作品があった。
- ▲作品数が多くなってきているので、ひしめき合っている。展示の仕方に工夫が必要。
- ▲初めて特別支援学級担任となったため、児童がどんな作品を作ることができるか、担任はどこまで手を貸してよいか悩んだ。
- ▲出品者名簿も紙媒体でなく、データでいただいたかった。